

住民の避難行動に結びつく情報発信のために

R4.7.1

～「近畿地方メディア連携協議会 現地見学会・勉強会」を開催しました～

近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター

- 近畿地方メディア連携協議会は近畿地方整備局・大阪管区气象台・各メディア報道関係者で構成しており、住民の避難行動に結びつく情報発信を目指して活動しています。
- 梅雨明け直後の7月1日(金)に、近畿地方整備局管内の淀川における事業紹介として、阪神なんば線、淀川大堰閘門の現地見学会を実施しました。
- その後、勉強会として、話題提供及び意見交換を実施しました。

近畿地方メディア連携協議会 現地見学会・勉強会の概要

- 日時:令和4年7月1日(金)13:30～17:30
- 開催形式:集合開催
- 出席者:30名 うちメディア出席団体:5社(計9名)

(出席団体)株式会社朝日新聞社／朝日放送テレビ株式会社／株式会社 日刊建設通信新聞社／日本放送協会 大阪放送局／株式会社 毎日放送／(五十音順)
(事務局)近畿地方整備局、大阪管区气象台
(参加機関)水資源機構

現地見学会の内容等について

2現場の視察及び現地説明を行いました。

- 阪神なんば線
・淀川橋梁改築事業の説明
・現地の工事進捗状況視察
- 淀川大堰閘門事業
・淀川の歴史と現状
・整備内容
・現地の工事進捗状況視察

阪神なんば線
(説明:淀川・波多野事務所長)



淀川大堰閘門
(説明:淀川・岡本課長)



勉強会の内容等について

- 下記項目の話題提供を行い、意見が交わされました。
- 指定河川洪水予報のはん濫危険情報における予測発表について(水災害予報センター)
 - ⇒メディア>水位周知河川の情報提供をして欲しい
 - ⇒事務局>要望調査の上提供できる様調整していく
 - 大和川流域水害対策計画の策定について(河川計画課)
 - 治水ダムと利水ダムの違い(河川管理課)
 - 令和4年度 淀川陸閘訓練について(河川管理課)
 - 令和4年度出水期防災気象情報の改善(大阪管区气象台)
 - ⇒メディア>中小河川での表現がわかりづらい
 - ⇒事務局>住民からも同意見があるため、検討会等を実施し調整を図っています

勉強会



【問合せ】国土交通省近畿地方整備局水災害予報センター
〒540-8586大阪市中央区大手前1-5-44TEL06-6942-1141(代表)



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト